

(6) 自主事業

(1) 利用者の健康増進への取組について

■ 市民の健康づくりの推進

- 健康の維持管理や多世代間の交流の場を提供するため、幅広い年齢層の利用者がイベントを通じて「気軽に・継続して」健康づくりに取り組むことのできる機会を提供していきます。
- 参加者同士の交流や健康づくり、生活習慣病の予防など多様なニーズに応え、子どもから高齢者まで幅広い年代に対応した健康づくりイベントを実施します。
- 健康づくりの関心を高めていただくための取り組みとして、「骨密度測定会」や「インボディー測定会」を実施します。自身の健康状態を把握し、運動習慣につなげていくためのアドバイスを本施設で行います。
- 「ウォーキング教室・ノルディックウォーキング教室」を開催し、市内の魅力あるウォーキングコースを選定し、正しい歩き方を習得して足腰の強化を図るとともに、参加者同士や従業員との交流を深めます。
- 誰もが気軽に参加できる「あしや温泉健康展」「おにのぬり絵コンテスト」や「こいのぼりぬり絵大会」など幅広い世代を対象に季節を感じ取れる事業のイベントを開催し、未利用者にも施設を知り、利用してもらおうきっかけをつくります。



(2) 地域コミュニティ等発展への取組について

■ 地域連携についての基本的な考え方

- 本施設の管理運営にあたっては、施設の特性を明確に打ち出す必要があり、地域のさまざまな団体・企業や人材との連携や協働が不可欠です。
- また、地域の皆さまや類似施設従業員との交流を通じ、従業員の事業企画・運営スキルを恒常的に高め、施設が提供するコンテンツを充実させていく必要があります。
- 本施設が「便益の束」として有機的連携を図り、「ハブ機能（結節点）」をもつ「ふれあい」「支え合い」の中心となるよう、地域を構成する企業市民として連携を図りながら、事業を展開してまいります。



■ 地域との連携

(1) 地産地消型経営の推進

① 芦屋市内企業の優先選定

- 資機材や販売品の調達、再委託業務に関しては、市内企業の優先選定を通じた地産地消型経営を通じ、地域経済の活性化に寄与します。

② 地域雇用の推進

- 地域の実情に精通した人材を確保し、利用者との長期に亘る信頼関係の構築が重要と考え、あしや温泉では、平成 28 年 9 月現在、13 名中 8 名の芦屋市民雇用を実現しております。

項目	採用者数	市民	割合
芦屋市あしや温泉	13名	8名	61.5%
姫路市夢前・香寺・安富スポーツセンター	26名	19名	73.0%
姫路市網干健康増進センター	45名	38名	84.4%
姫路市すこやかセンター	16名	13名	81.2%
合計	100名	78名	78.0%

当社神戸支店 地域雇用の実績
(当社指定管理者施設 平成 28 年 9 月 1 日現在)

(様式 2)

芦屋市立あしや温泉事業計画書

(6) 自主事業

(2) インターンシップ（職場体験）の受け入れ

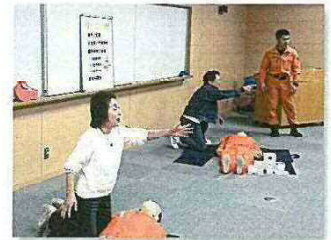
- ・阪神南障がい者就業・生活支援センター就労訓練・市内中学生・高校生等の皆さんに自主提案事業の準備や運営、施設の整備等、実際の施設運営業務を通じ、職業意識の向上と施設に対する理解を深めていただくことを目的としたインターンシップを、学校等からの要請に応じて実施します。
- ・阪神南障がい者就業・生活支援センター就労訓練・中学校・高等学校と事前に日程や体験業務、安全性について十分協議を行い、終了後も両方で内容の振り返りを行うことで充実したものとし、継続的な受け入れを行います。



就労訓練の様子
(本施設実績)

(3) 地域住民の協力を得ながら行う防災訓練の実施

- ・阪神・淡路大震災や東日本大震災の教訓から得た、「自助、共助、公助」の考え方を踏まえ、地域住民一人ひとりに対し、防災について正しい知識と行動力を身につけ、迅速に行動できるよう普及啓発に努めなくてはならないと考えます。
- ・本施設で実施する防災訓練に周辺自治会・町内会の皆さまの参加を呼びかけ、施設を身近に感じていただくとともに、従業員との交流を通じて「顔の見える関係」づくりに努め、恒常的な協力関係を構築してまいります。
- ・当社では、他の指定管理者施設において、地元自治会参加による防災訓練や普通救命講習を実施しており、本施設でも同様の取り組みを行うことで市民防災力の向上に貢献してまいります。



AED 訓練の様子
(本施設実績)

(3) 利用促進の取組について

■ 施設の利用促進に向けた取組み

- ・施設の利用促進に向け、「施設と事業の認知度向上と健康増進、地域コミュニティの場の提供」、「施設の継続的な利用の推進」の2つの観点から各種施策を実施します。
- ・市民の健康の維持・増進を目的に、市内全域への高い波及効果が期待される施設であることから、きめ細かなサービスと情報発信の機能を備え、本施設を継続して利用いただく環境を提供することが指定管理者の務めであると考えます。
- ・施設が持つ性格を活かすために、提供するサービス内容の充実はもとより、従業員の接客マナーと知識を高いレベルで平準化し、運動習慣の継続を積極的に啓発していくことで、施設の継続的な利用を促進していきます。
- ・気軽に施設を利用いただけるよう、施設の利便性を向上させ、市民にとって身近な施設としていきます。

(1) 情報発信を基軸とした広報・PR活動

- ・効果的・効率的な施設利用者の獲得と、施設の魅力を積極的にアピールしていくため、伝えるべき内容とアプローチの段階を見極めた、最適な広報活動を行います。
- ・本施設のより一層の利用者の増加を目的に、当社では、下記に掲げる消費者行動のプロセスを踏まえた広報活動を行います。
- ・消費者の「注目・関心・検索・行動・共有」という購買過程を重視し、顧客満足度を高める取組みと並行しながら、新規利用者の獲得とリピーターの確保に努めていきます。
- ・特に、情報格差（デジタルデバイド）を発生させないため、複数の媒体を組み合わせた多面的な広報活動を展開し、幅広い年齢層に施設利用を訴求します。



広報活動の基本方針

(様式 2)

芦屋市立あしや温泉事業計画書

(6) 自主事業



(6) 自主事業

(3) 改善提案に関する取組について

■ 自主事業の基本的な考え方

- ・自主事業は、施設の設置目的を効果的に達成するための方策として、また、利用者サービスを向上し、施設の求心性を高めることを目的として実施します。
- ・利用者ニーズを十分に踏まえ、地域住民をはじめとした幅広い世代が楽しめるイベント等を展開します。

■ 具体的な展開

(1) 年間を通じた事業の展開

- ・利用者間交流の促進と気軽に施設を訪れることのできるきっかけづくりのために、幅広い世代を対象に季節を感じ取れる事業を年間通じて展開します。
- ・当社の持つ強みを発揮し、健康増進に関する事業も展開することで、自身の健康について見直し、改善していくためのサポートを行います。
- ・施設の利便性向上とにぎわいの創出を目的に、自動販売機設置のほか、アメニティグッズの販売やタオル・バスタオルの販売を実施します。



当社自主事業のマトリクス

※ 自主事業の詳細につきましては、次ページ以降に記載しております。併せて御参照ください。

(2) 自主事業に対するモニタリング

- ・実施した自主事業については、実績として参加状況や収支状況、参加者意見などを評価します。
- ・併せて、4つの視点に基づいた検証と事業企画者のねらいと成果、次回への課題を抽出し、問題点を明らかにして改善を図ることで施設設置目的に沿った事業の展開を図ります。



自主事業検証の4つの視点